ママ・パパなら必ず知っておきたい！「小児科受診の準備とマナー」

ドクターズコンテンツシリーズ #44

iTICKET

はじめに

具合が悪い子を連れての受診はとても大変なこと。
できるだけ早く診てもらいたいというのはママやパパの共通の願いではないでしょうか。そのためにも協力し合いたいのが、一人ひとりの受診準備です。ポイントをおさえれば、みんなの待ち時間がどんどん短くなります。

Doctor
にしいけクリニック
西池（にしいけ） 一彦（かずひこ） 先生

病院に到着したら

感染症の疑いがあるときは受付で申告を

インフルエンザなどの感染症にかかっていると、ほかの子にうつしてしまう可能性があります。
「高熱」「下痢」「嘔吐」「激しい咳」があるときは、来院したらすぐ受付に申告しましょう。

診察前に

洋服のボタンやファスナーを外しておきましょう

上着は脱ぎ、上半身は胸、背中、お腹をすぐに見せられる状態にしておきましょう。
小さい子の場合、診察室に入ると泣いてしまって洋服を脱がすのが難しくなってしまうこともあります。洋服のボタンを外し、お腹や胸をサッと開けられるようにしておきましょう。
お腹の診察ではズボンも脱がすことが多いので、準備しておくと安心です。

医師に伝える内容を整理しておきましょう

「いつから」「どこに」「どんな症状があるか」など、医師に伝える情報を頭の中で整理しておきましょう。もしくは、経過を記録したメモを用意しておきましょう。

だまし討ちはダメ！子どもには「心の準備」をしてもらおう

なかには子どもに黙ったまま病院へ連れて行き、心の準備もないまま予防接種を受けさせる方がいますが、このような「だまし討ち」は良くありません。
子どもに不信感を抱かせてしまい、予防接種を受ける度に暴れるようになってしまうからです。

物心がつく年頃になれば「予防接種をなぜ受けるのか」をある程度理解できるようになるので、「大変な病気にならないために注射をするんだよ」と伝えてあげてください。
心の準備ができていれば、例え痛くて泣いてしまっても、その後のフォローがしやすくなります。

受診時の「正しい抱っこの仕方」

1 子どもの後ろに座り、利き腕で子どもの体をしっかり抑えます。

2 子どもの足を保護者の足でしっかり挟みます。

3 反対の手で子どもの額を押さえます。

診察時に動くと思わぬ事故につながります

「泣いている子を押さえつけるのはかわいそう」という気持ちになってしまうかもしれませんが、診察時に動いてしまう方が危険です。手足が動かないよう、しっかり抱えてあげてください。

ドクターからの健康アドバイス「ドクターズコンテンツ」サイトでは様々な症例をご紹介しています。

この他にも…
- 熱、下痢、嘔吐…、子どもの具合が悪くなったら？
- 小児科に行く準備（病気編）
- 小児科に行く準備（予防接種編）

など掲載中！

アイチケット広場
パソコン　スマホ　ケータイから
http://park.paa.jp/

© M3 Solutions, inc.